

未来想論セッション

人から考えるコミュニケーション環境

パネリスト

塩瀬 隆之 先生(京都大学)

野島 久雄 先生(成城大学)

オーガナイザ

外村 佳伸 (NTT CS研)

問題意識の発端

- 昨今のコミュニケーション環境において、
 - 本当に伝えたいことがうまく伝わっているだろうか？
 - どうしても伝わらないものって何だろう？
 - 様々なハイテク手段は人にとってどうなのか？
 - 情報って自分にとって何だろう？
 - 人の心に触れるコミュニケーションとは？

等々

セッション概要

人にとってのコミュニケーション環境はどうデザインされればよいか

- 人に何が伝わるべきなのか
- 人が見聞きする情報の意味は何なのか

等の観点で議論し、これから益々重要となる人からの視点によるコミュニケーション環境論を展開する。

(ねらい)

人あるいは日常を中心にした視点で、技術が果たすべき役割、課題について思いを巡らせてもらえれば

進めかた

- ポジショントーク
 - 塩瀬 隆之 先生
 - 野島 久雄 先生
- 個別の質疑
- ディスカッション

パネリスト紹介

塩瀬 隆之 様

- 京都大学大学院 情報学研究科 システム科学専攻 助教
慶應義塾大学SFC研究所 上席所員 併任
- プロフィール

師匠と弟子との徒弟制度的関係に着目した**技能継承コミュニケーション**,
障害のある人をものづくりプロセスに巻き込む**インクルーシブデザイン**,
視覚に障害のある人との言葉でみる**美術鑑賞コミュニケーション**など,
異なる視点から「**伝わるとはなにか**」について研究する. インターネット
や電子メールの使い方を教わる情報教育と違って, 立場や能力, 文化
の異なる人々が, 関係性のなかで豊かに成長できるような「コンピュー
タを使わない情報教育」について講演多数.

パネリスト紹介

野島 久雄 様

- 成城大学 社会イノベーション学部教授
- プロフィール

NTT研究所勤務を経て、2005年より現職。

専門は認知科学、認知心理学、学習科学。「思い出」を工学的な枠組みでとらえ直す「**思い出工学**」を提唱。著書に「教授・学習過程論 学習科学の展開」(共著、放送大学教育振興会、2006年)、「＜家の中＞を認知科学する 変わる家族・モノ・学び・技術」(共編著、新曜社、2004年)、「ITと文明 サルからユビキタス社会へ」(共著、NTT出版、2004年)などがある。